時事新報定價
時事新報ハ一年三百六十五日一日も休刊セズ其代價遞送料廣告料ハ左ノ如シ
一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓
一箇年前金六圓
〇時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ發送スルモノニ限リ本文定價ノ外ニ一箇月二十六錢ノ送料ヲ要ス

時事新報廣告料前金一行ニ付

一行 廿四字詰	一行	二日以上	七日以上	十六日以上
自一行至十行	一日限	六日迄	十五日迄	
自十一行至卅行	十錢	八錢	七錢	二厘 六錢 八厘
三十一行以上	九錢	七錢	六錢	三厘 五錢九厘五毛
	八錢	六錢五厘	五錢八厘五毛	五錢 五厘

時事新報

事の情實を斷る

頃日の一話に去年中東京府下の或る紳商が數名申合して東京近傍の地と擇び製造所を設立せんとて地所買入れの談判も整ひ手金も渡して場所は定まり失れより會計組織の事に付て表向きの願屆もなれども是れは唯公式ばかりのまとにして左まで手重き事にあらず唯急ぐものは器械なりとて早速外國に注文し其品の到着次第開業する積りにて會社設立の儀と其筋へ願出たる處、中々以て容易なる手數にならず先づ發起人の身元調とて其實富は勿論平生の人と爲りは如何なる性質の者にてあるかと逐一ふれと調べるに付ても唯の世話にては暗とするに足らず其管轄の戸長役場より郡役所府縣廳の認る所にて大丈夫と視るにあらざれば叶はざることなり然るに右發起人の中には東京の紳商にてありながら本籍を上方の某縣に存する者ありければ府下にて其人の姓名と云へば富豪聽れもなく、疑ひも多く、商實社會十二分の信用なれども其筋の表面にては何ものとも相分らざる素町人なるが故よ態々本縣へ照會して本人在籍の日長役場、それより郡役所、それより縣廳と經て回答に及び何縣何郡何村何某は身元慥なる者なり人物疑はしき者にあらずとの證と得て東京の店に照らし見れば成るほど日本國中屈指の豪商なることが始めて明なりまにもあらず疾く世上には分明なれども表向きの手順慣例に於て始めて公認せられ然らば會社設立の儀は苦まからずと許可せられて失れより又一方に警察の取調べとなり、火の用心は如何、衛生は如何、不滿ではないか、騒々しくはないか、人民往來れ妨害にはならずや、近傍住民の迷惑にはならずや云々にて是れ亦容易あらず、斯る次第にて發起の其時より日又日を重ね、書面又書面を指出し、書式を誤りて認め替へ、奉呈の筋を間違へて却下せられ、失れ是れする中に凡そ五六箇月を經過して最きよ外國に注文したる器械は先方へ注文書の違したる日より三週日目に荷物を積出して既に橫濱に着し其間凡ろ半年を費したりしが日本にても事業の發起より着手に至るまで表向きの手續に丁度半年を經たり學竟人民が官邊の文事に不慣あるが故に無益に日子を空ふを手間を費したるものなりとは申しながら其筋に於ても何とこの今少しく臨時の處分はあかる可きやと我輩と甚だ遺憾に堪へざるなり抑も會社設立に付き政府れ筋にて注意を加ふるは無一物の致將者が世の風潮の飄々さるを利し巧に說と作りて一時を瞞着し其間に騙取同樣れ手段を運らす者と惡んで其弊を止めんとする優し死神あるは我輩の飽くまでも知る所あれども扨その精神を實際の事實に實かんとするは甚だ困難なるまとにして人力の及ぶ所あるも何らか迂や一時遲として觀る可きものなれ之我輩の所見にては迚も今の世の風潮にて會社設立の狡猾手段を豫防するの妙案はある可らず唯その事跡に顯れて法に觸れたるものを嚴罰す可きのみと思へども我い臨時れ手心にて之を防ぐんとするか、既に手心と云へるからには其設立と許すも亦手心に任して不可なかる可し例へば前節の話に製造所發起人の身元調の如況其人が商實社會に居り十目の視る所、十指の指す所にて紳商なり豪家なりと云へば願屆も唯公然たる儀式のみにて即日よ許可もるも人事に妨はなかる可し或は警察上に火の用心衛生の心得あぞにても大抵發起人の人品次第にて危ぶと犯そと犯さゝるとは推察せらる可況ものなり本來手心とは恰も主人が家に處するの法にして家人に留主番を命するに誰れは安心、誰れは不安心と凡そ人撰するに難からざるが如し左れば政府の筋にて會社設立の許可を一切法に任して毫も情を見ず出願次第に之を許して設立の後法律に觸るゝ所れば直に罰して容捨なしと定るか、又は手心と以て其事情を察し時として許し時として許さずとするか何れにても苦しからず唯手數を簡にして速に可否を決し人民をして時と空ふせしめざるの一事のみ我輩の願ふ所なり當に時を空ふもそれとならず商人の資本金は時を期して二重にも三重にも働くものにて其味は學者などの得て知る所よならず故に彼の製造所れ地面を買入れて建築をするにも前以て時を期し資本金の用意もなるまとなるに願屆の滯りよりは日を空ふもそれは取りも直さず金を空ふもそれに異ならず其難儀は如何ばかりある可きや民業を重んずる政府よ於ては十分れ注意を要するまとある可し

官報

○内務大臣の署名　一昨十日の紙上に本年大蔵省訓令第一號の末行に内務大臣伯爵山縣有朋の十字を脱したりと官報に由り是正せまが昨日の官報より更に此の正誤を取消まとよ

○海軍省訓令第一號
運用衛數員タル兵曹候員ニ際シテハ一等水兵ヲ用フル事
朝治廿一年一月十一日　海軍大臣伯爵西郷從道

○逓信省告示第一號
本月二十日ヨリ長門國赤間關區赤間關郵便局電信局ヲ合併シ赤間關郵便電信局ト稱シ同日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム
明治廿一年一月十一日　逓信大臣子爵榎本武揚

○傳染馬病　岩手縣馬の皮疽病の昨年十二月十七日より同二十三日まで紫波西閉伊二郡に新患十三頭案波郡に舊患全治一頭ありたる旨屆出てより（農商務省）

○製絨所工業概況　昨二十年十二月中千住製絨所工業の概況は前月より持越絨類五萬九千九百四十八碼、此代價四萬四千四百三圓六錢八厘、原品買入高羊毛八萬八千八百五十封度、此代價一萬七千七百七十二圓六十三錢九厘、屑綿製絲百二十八貫九百二十九匁、此代價五百三十三圓十錢九厘、絨類出來高二萬四千七百七十九碼、此原價（同上）三萬三千二百八十五圓五十錢二厘、絨類販賣高三萬三千高九千三百五十五圓五十六錢八厘なり（農商務省）

○蠶絲業組合規約の件に付伺指令　昨二十年十二月二十日附新潟縣より農商務省へ明治十九年八月農商務省令第九號蠶種檢査規則第九條に病毒の歩合原種に於ては百分の五以下製絲用に於ては百分の十五以下と規定之れあれども蠶絲業組合に於て原種は百分の四若くは五以下製絲用に於て百分の十若くは五以下等右九條の範圍内に於て規約と以て其程度を定め願出るまとは認可を與へ差支あるかと伺出てる處去る九日付を以て回答より伺の趣蠶種微粒子病毒の歩合組合規約中に掲けしめさる儀と心得へしと指令せり（農商務省）

雜報

○保安條例第五條　昨今風說する處に據れば保安條例第五條「人心ノ動搖ニ由リ又ハ内亂ノ豫備又ハ騷擾ヲ爲ス者アルニ由リ治安ヲ妨害スルノ虞アル地方ニ對シ云々」の條により其筋にては其虞ある地方と取調べ時宜によりては該條項の一部或は數部を施行するまともあるべしと云へり

○秋田縣會議員退職の後報　去五日れ本紙上に秋田縣會議員伊藤直純氏外十二名は一時に辭職したる旨を記せしが抑も秋田縣會は九郡四十一名の議員より成立つものにして數年來隱然黨派と形造り南秋田、河邊、鹿角の諸郡を中央部と云ひ雄勝、平鹿、仙北諸郡を南部と呼び山本、北秋田、由利郡と北部と稱して事ありれば何とな く軋轢の形跡を現はし來りしが中央部は南部と相合してより常に議會の多數と占め其勢力の盛んなるに隨ひ議會の權力漸く中央部に偏するの趣ありて客臘廿六日正副議長及び常置委員と改撰したる時の如きは中央部より議長一名常置委員三名程も當撰して其間何等かの曲折ありしが如き嫌と生じまとるより南部議員と大に憤り議會に席と非にすると能はずとて遂に十餘名一時に退職しまるありとぞ此事の發表するや縣廳にては那長に内達して退職者に說諭せめ人民い總代を撰んで其理由を尋問するなど官民の騒擾大方あらざりしが猶は北部の議員藤氏も或い引續き退職そるやも測り難しと云へり

○歐米豪傑の年齢　森西運河の開鑿者として有名なるフェルディナンド ド レセップ氏は昨年十一月十九日よ八十三年の齡を閲したるが歐米にて名ある人々の中氏に均しき高齡に達しまるは獨逸皇帝（九十年）獨逸のドクトル ドウリンゼル（八十八年獨逸のモルトケ伯及び米國の歷史家バンクロフト氏（各八十七年）匈牙利の政事家コレロー氏（八十五年）英國の博物學士オウエン氏（八十三年）の數名に過ぎざれども今の人生普通の命數を通過して長壽を保ち居る人々と枚擧すれば其數決して寡からず先づ正公の内にては羅馬法皇い七十七年和蘭陀王ウヰリヤムは七十一年政事家の内にてはグラッドストン氏七十九年（十二月にて同年に滿る）ウヨンブライト氏七十六年ビスマーク公七十二年ロユールグレヴヰー氏七十四年レオン セイ氏及びレロエー氏各七十一年セルボルン卿七十五年ルザアフオルド アルコック氏七十八年セルブロック卿七十六年グランヴヰル卿七十二年將軍の内にてはマクマホン氏七十九年レーブフ氏七十八年ペセン氏（以上佛國の將軍）及び伊國の將軍チヤルテーニー氏各七十六年詩人の内にてはテンニイソン卿七十八年ブローニング氏七十五年（共に英人）ドクトル オリヴア ウエンデル ホルムス氏七十八年（米人）書畫家の内にてはヴエルディ氏七十三年（伊國人）工師の内にてはアームストロング卿七十七年ハウクヤウ氏七十六年（共に英國人）畫工の内にてはマンニエー氏七十二年（佛國人）等あるが已に百二年の齡に達したる佛國の有名なる理學士セヴルール氏は右の表中に記するまとを忘る可からざるものなり云々感る英字新聞に見えたり

○大日本美術協會　にては去る七日を以て會頭と撰擧し同會を五部に分ち各部長一名を從く事に定め會頭は佐野常民氏繪畫部長に下條正雄、織物部長に山岡次郎彫刻部長に今村長貫、陶物部長に酒田春樵、鑄鍛部長に山高信離れ五氏を推薦せし由なるが猶委員と撰定する爲め明後十四日會を開く筈なり、均も稍潤たるに込ありといふ

○神奈川縣會　規則第三十三條の紙上に掲載せり解散の命と發云ふ

○英和女學校　二百十二番館なる

○佐賀縣人の新年宴會　て新年宴會を開く

○爆烈藥の破裂　「ダイナマイト」の東口山科工場内の道工事に用ふる先に凍りし故其入れ湯の中に浸し殘り八十個は

○公事沙汰多し　二名あまと一時は類小間物類の商館に注文約定は大概秋よと初不景氣、殊に官行き減に悲取ればは商館にては限りなく倉庫内のみにて因難催促する者も多るの外なまとて

○民事上告事件　に上告金又は假其上告の金員に別に美濃紙に

○馬肉の不掛け　殊ま物珍しさに

○蠶小間物類の商　館に注文約定は大概秋よと初不景氣、殊に官行き減に悲取ればは商館にては限りなく倉庫内のみにて因難催促する者も多るの外なまとて

○横濱商業延期願　開會し利益配當を出まとも決議の盛取引所の規を以て兎も角に決しまるもの株主總會　來る十日附新潟縣銀行の株主總會時日定まらざるなれば右に關すて客年賊難よ續きたれば其信勿論右挽回の策

○英國女學校　二百十二番館なる

○佐賀縣人の新年宴會　て新年宴會を開く

○爆烈藥の破裂　「ダイナマイト」の東口山科工場内の道工事に用ふる先に凍りし故其入れ湯の中に浸し殘り八十個は

○公事沙汰多し　二名あまと一時は類小間物類の商館に注文約定は大概秋よと初不景氣、殊に官行き減に悲取ればは商館にては限りなく倉庫内のみにて因難催促する者も多るの外なまとて

○横濱商業延期願　開會し利益配當を出まとも決議の盛取引所の規を以て兎も角に決しまるもの株主總會　來る十日附新潟縣銀行の株主總會時日定まらざるなれば右に關すて客年賊難よ續きたれば其信勿論右挽回の策